

トップニュース



ガザ地区南部ラファの食料配給センター前で待機する11歳のムハマドさん(左)と9歳のリハムさん(中央)。家族のために毎日2キロの道のりを歩き、5時間以上かけてようやく1食分の食事を手に入れている。(2月25日撮影=日本ユニセフ協会提供)

宗派は4月9日、国内外の子どもたちへの支援を目的に取り組み「子どもたちの笑顔のために募金」から1000万円を日本ユニセフ協会に「ガザ人道危機緊急募金」に贈った。本山下に置かれていたガザ地区の子どものために、何としてでもいのちをつなぎ、笑顔を取り戻してもらいたいと

「ガザの子どものいのちを」ユニセフに笑顔募金1000万円

「ガザの子どものいのちを」ユニセフに笑顔募金1000万円

「ガザの子どものいのちを」ユニセフに笑顔募金1000万円

立教開宗800年

4月15日に立教開宗記念法要(春の法要)

本山の恒例法要である立教開宗記念法要(春の法要)が4月15日、御影堂で営まれた。親鸞聖人が「教行信証」を撰述されたことをもって浄土真宗の立教開宗とし、その年を元元(1124)年と定めている。今年には立教開宗800年という節目にあたる。

13、14日には寂如上人300回忌



「正信偈和讃」「御文章」の開版、声明をはじめとした勅式作法の改正、学林(龍谷大学の前身)の再興、大本願の明著堂の創建など数々の事蹟を残された。参拝者は、宗門の発展興隆に尽力された上人のご遺徳を偲んだ。

800年で法話会 布教同志会が開催

布教同志会が組織する全国布教同志会(遊亀孝文会長、会員約300人)は立教開宗800年を記念し、法話会を4月17日に本山・聞法会館で開催。会員8人が25分ずつ法話し、102人が聴聞した(写真)。

早水専務理事は「ガザでは、食料が底をつき、多くの住民が餓死の危機にさらされている。子どもたちが笑顔を取り戻せるように」といって受け止め、できる限りの支援を行いたい」と述べた。

ユニセフは、ガザ地区とヨルダン川西岸地区における水と衛生、子どもの保護、教育支援の継続、多目的現金給付支援などに約2億6330万ドル(約368億8000万円)の資金が必要としている。これを受け、同協会は昨年10月から「ガザ人道危機緊急募金」の受け付けを行っている。

本願寺新報 hongwanji journal

5月1日(水曜日)

毎月1日・10日・20日発行

茶道 藪内家燕庵 京都市下京区西洞院正面下 1000-8501

- 私たちのちかい 一、自分の殻に閉じこもることなく 穏やかな顔と優しい言葉を大切にします...

赤光 白光 「横顔のことは」というエッセーに出会った。人の横顔を見るのが好きだという。エッセーに影響されて、人の横顔を見てみると、正面から見るいつもの表情とは違って見える。

菱灯籠 (両堂の渡り廊下)

逢坂憲吾の 四季折々に 境内を歩いて

阿弥陀堂と御影堂を結ぶ廊下にある菱灯籠(写真右)。ご本山に限らずどのお寺でも拝見できるので、読者の皆さんも一度は実物をご覧になられたことがあるかと思いますが、菱は、古くは縄文土器に模様として刻まれ、図版化された紋様としては飛鳥時代から確認されるそうです。



撮影データ X-H1 XF50-140mmF2.8 R LM OIS WR f2.8 S.S1/80 ISO200



撮影データ X-H1 XF50-140mmF2.8 R LM OIS WR f5.6 S.S1/40 ISO200

西本願寺の風景 四季折々に境内を歩いて 本願寺出版社刊 1650円(税込)

C5026 SETTA C/6 (セッタシーシックス) 2024年8月入荷予定

東国に在る親鸞 抄訳 佛説阿弥陀經

DAIJO 5月号 毎月1日発行 B5判/80ページ